

2022 年 2 月 25 日

東海国立大学機構長 殿

名古屋大学職員組合中央執行委員長

水島 朋則

事務系専門職についての意見書

日頃より職員の処遇改善にご尽力いただきありがとうございます。

提案について、労働者側が理解し、検討する時間が短すぎます。少なくとも 2 週間は検討する時間をとってくださいよう要求します。

業務過多となっている部署の増員につながるのであれば、今回の提案に賛成します。高度化・複雑化する業務に専門的知識等をもつ職員が専任することは一般的には賛成できますが、提案が急であり、実際に業務に携わる教職員間での意見交換等がなされた提案でなければ、運営上齟齬をきたす恐れもあります。

専門職のキャリアパス構築も提案されていますが、前提は 5 年任期であり、せっかく専門的な業務に従事しても大学の資産として生かしきれなくなる懸念があります。せっかくの人材を雇止めすることがないよう雇用の安定を図ってください。

また、今まで事務職員の養成に力を入れてきたはずなのに、それについての総括や今後の計画等についての説明がありません。しかも年俸制を事務職に導入することで、今後一般の事務職員にも年俸制が拡大される懸念もあり、制度の詳細（専門職の基本年俸額・業績給の算定方法、昇格、今後の展開、既存の承継職員の育成・研修プランの方向性）について、早急に示してください。

無期雇用するかどうか判断する中間評価は雇用の継続にかかわる評価ですので、公平正大な評価制度にしてください。

以上